

平成 25 年度市町村公営企業決算の概要について

1 事業数

- 地方公営企業決算の対象事業数は、前年度末から 1 事業増（電気事業の新設）、2 事業減（下水道事業（公共）事業の廃止、介護サービス事業の廃止）で、現在 198 事業（法適用企業 61・法非適用企業 137）
- 事業数を事業別にみると、下水道事業（法適用＋法非適用）が 103 事業と最も多く、次いで、水道事業（含簡易水道）46 事業、宅地造成事業 14 事業の順（地方公営企業を経営している団体数は、平成 25 年度末現在 44 市町村、8 一部事務組合等）

〈事業数一覧〉

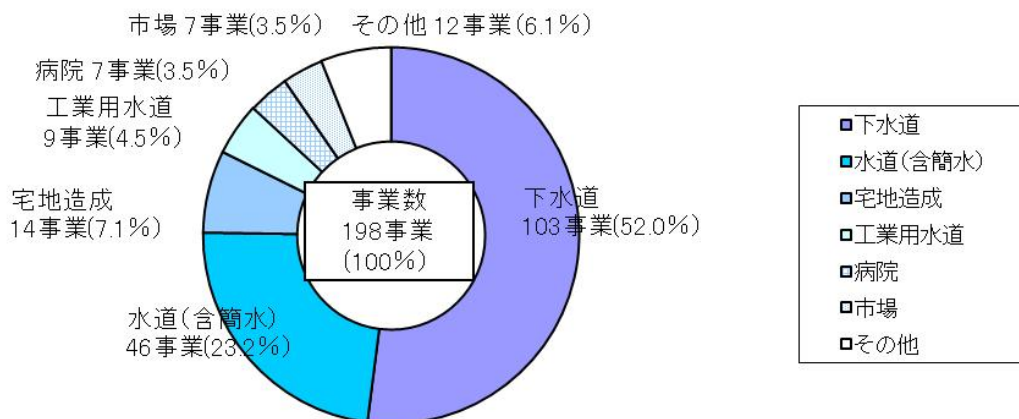
（単位：事業数）

区分	21年度	22年度	23年度	24年度 (A)	25年度 (B)	対前年度増減数 (B)-(A)	
法適用企業	上水道	43	43	43	42	42	0
	工業用水道	9	9	9	9	9	0
	電気	0	0	0	0	1	1
	病院	7	7	7	7	7	0
	下水道	2	2	2	2	2	0
	小計	61	61	61	60	61	1
法非適用企業	簡易水道	5	4	4	4	4	0
	下水道	101	101	101	102	101	△ 1
	市場	7	7	7	7	7	0
	観光その他	2	2	2	2	2	0
	宅地造成	18	17	15	14	14	0
	駐車場	5	5	5	5	5	0
	介護サービス	5	5	5	5	4	△ 1
	その他	0	0	0	0	0	0
小計	143	141	139	139	137	△ 2	
合計	204	202	200	199	198	△ 1	

(注) 1 各年度の事業数は、年度末の数値であり、建設中の事業を含む。

2 「介護サービス」事業とは、保険運営に係る介護保険事業会計ではなく、市町村が運営する介護サービス事業のうち指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、老人短期入所施設、老人デイサービスセンター及び指定訪問看護ステーションに係るものである。

25年度事業数の状況



2 決算規模

- ・ 決算規模は、2,237 億円で、建設投資額の増、公的資金補償金免除繰上償還額の増等により、前年度に比べ110 億円、5.2%の増
- ・ 法適用企業は前年度に比べ46 億円、4.8%の増、法非適用企業は前年度に比べ64 億円、5.5%の増
- ・ 決算規模を事業別にみると、下水道事業（法適用＋法非適用）が1,216 億円と最も多く、次いで水道事業（含簡易水道）780 億円、病院事業162 億円の順

〈事業別決算規模一覧〉

（単位：百万円，％）

区分	平成21年度	22年度	23年度	24年度 (A)	25年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100	
法適用企業	上水道	84,593	73,131	75,377	76,257	75,852	△ 405	△ 0.5
	工業用水道	943	1,231	912	865	873	8	0.9
	電気	0	0	0	0	30	30	-
	病院	10,837	10,876	10,581	10,694	16,198	5,504	51.5
	下水道	9,220	7,427	7,402	7,841	7,285	△ 556	△ 7.1
	小計	105,593	92,665	94,272	95,658	100,238	4,580	4.8
法非適用企業	簡易水道	1,955	1,296	1,633	1,748	2,177	429	24.6
	下水道	119,660	102,434	110,405	106,242	114,287	8,045	7.6
	市場	1,278	991	907	897	1,188	291	32.5
	観光施設	632	538	468	328	456	128	38.9
	宅地造成	6,296	5,424	5,537	6,292	3,854	△ 2,438	△ 38.7
	駐車場	750	487	500	497	486	△ 11	△ 2.2
	介護サービス	1,022	1,057	1,066	1,015	969	△ 46	△ 4.5
	その他	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	131,593	112,227	120,516	117,018	123,417	6,399	5.5
合計	237,186	204,892	214,788	212,677	223,655	10,978	5.2	
うち東日本災害復旧費			16,705	9,801	3,543	△ 6,258	△ 63.9	

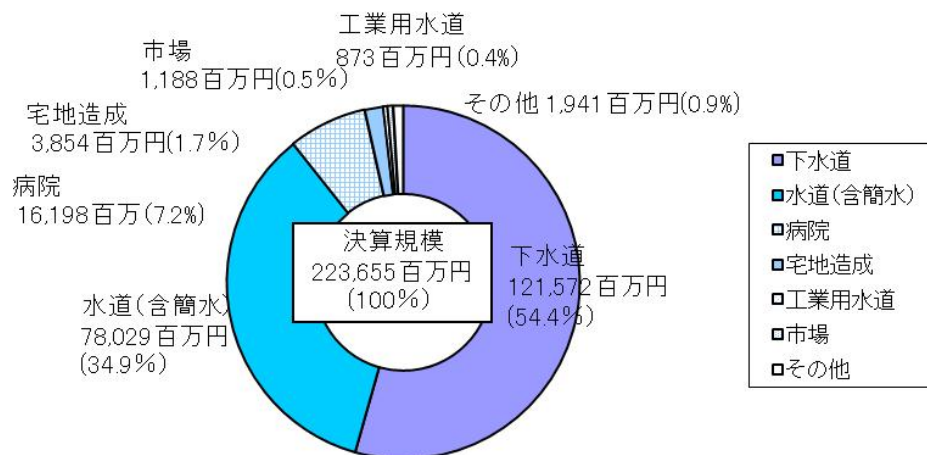
（注）1 決算規模の算出は、次のとおりとした。

法適用企業：総費用（税込み）－減価償却費＋資本的支出

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋前年度繰上充用金

2 各項目の数値は、表示単位を四捨五入したものであり、その内訳を合計した数値は合計欄と一致しない場合がある。（以下同じ）

25年度決算規模の事業別構成比



3 経営状況

(1) 収支状況

- 収支状況（建設中の事業を除く）は、黒字事業182事業（前年度185事業）、赤字事業13事業（前年度10事業）
 なお、赤字事業の割合は6.7%で、上水道事業において受益者負担金の減少や計上漏れ資産の過年度減価償却費計上等により赤字事業が増加（2事業）したこと、病院事業において過年度減価償却費未計上分の計上等により赤字事業が増加（1事業）したことから、前年度の5.1%に比べ1.6ポイントの増加
- 一般会計等からの基準外繰入金を除いた実質ベースで見ると、全体の約7割（66.2%）の129事業が赤字事業となっており、前年度から18事業の増（下水道+13, 上水道+5）

※基準外繰入金：地方公営企業法等の規定による一般会計と公営企業会計との間の経費の負担区分の原則等に基づき、一般会計が公営企業会計に対して繰り出すべき基準（総務省が示す繰出基準）に基づかない繰入金。（例：収支不足の補てん等）

〈事業別収支状況一覧（建設中の事業除く）〉

（単位：事業数）

区分	平成25年度(A)			平成24年度(B)			対前年度増減数(A)-(B)			
	黒字	赤字	計	黒字	赤字	計	黒字	赤字	計	
法適用企業	上水道	34 (24)	8 (18)	42	36 (29)	6 (13)	42	△2 (△5)	2 (5)	0
	工業用水道	7 (5)	1 (3)	8	7 (4)	1 (4)	8	0 (1)	0 (△1)	0
	病院	4 (0)	3 (7)	7	5 (0)	2 (7)	7	△1 (0)	1 (0)	0
	下水道	2 (1)	0 (1)	2	2 (1)	0 (1)	2	0 (0)	0 (0)	0
	小計	47 (30)	12 (29)	59	50 (34)	9 (25)	59	△3 (△4)	3 (4)	0
法非適用企業	簡易水道	4 (0)	0 (4)	4	4 (0)	0 (4)	4	0 (0)	0 (0)	0
	下水道	100 (24)	1 (77)	101	99 (36)	1 (64)	100	1 (△12)	0 (13)	1
	市場	7 (2)	0 (5)	7	7 (3)	0 (4)	7	0 (△1)	0 (1)	0
	観光施設	2 (1)	0 (1)	2	2 (1)	0 (1)	2	0 (0)	0 (0)	0
	宅地造成	13 (5)	0 (8)	13	13 (6)	0 (7)	13	0 (△1)	0 (1)	0
	駐車場	5 (3)	0 (2)	5	5 (3)	0 (2)	5	0 (0)	0 (0)	0
	介護サービス	4 (1)	0 (3)	4	5 (1)	0 (4)	5	△1 (0)	0 (△1)	△1
	小計	135 (36)	1 (100)	136	135 (50)	1 (86)	136	0 (△14)	0 (14)	0
合計	182 (66)	13 (129)	195	185 (84)	10 (111)	195	△3 (△18)	3 (18)	0	
全体に占める割合	93.3% (33.8%)	6.7% (66.2%)	-	94.9% (43.1%)	5.1% (56.9%)	-	-	-	-	

- (注) 1 黒字・赤字の判断は、法適用企業にあつては純損益、法非適用企業にあつては実質収支による。
- 2 ()は、法適用企業にあつては収益的収入への一般会計等からの基準外繰入金を差し引いた場合、法非適用企業にあつては収益的収入及び資本的収入への一般会計等からの基準外繰入金を差し引いた場合の収支の状況である。

(2) 収支額

- ・ 収支額は、事業全体では57億円の黒字で、前年度に比べ15億円の減
- ・ 収支額を事業別に見ると、医業収益の減や過年度減価償却費未計上分の計上等により、病院事業が赤字化
- ・ 一般会計等からの繰入金497億円のうち基準外繰入金が155億円となっており、基準外の繰入金を差引くと、上水道事業、下水道事業（法適）以外の事業において収支が赤字になっている

〈事業別収支額一覧〉

(単位：百万円, %)

区 分		平成25年度(A) (基準外繰入除く)	繰入金 (基準外繰入金)	平成24年度(B) (基準外繰入除く)	対前年度増減額 (C)=(A)-(B)	対前年度増減率 (C)/(B)×100
法適用企業	上水道	1,362 (264)	2,291 (1,098)	2,713 (1,574)	△ 1,351 (△ 1,310)	△ 49.8 (△ 83.2)
	工業用水道	56 (△ 14)	70 (70)	87 (△ 18)	△ 31 (4)	△ 35.6 (△ 22.2)
	電気	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -
	病院	△ 268 (△ 1,519)	2,503 (1,251)	151 (△ 1,177)	△ 419 (△ 342)	277.5 (29.1)
	下水道	186 (141)	269 (45)	257 (192)	△ 71 (△ 51)	△ 27.6 (△ 26.6)
	小 計	1,336 (△ 1,128)	5,133 (2,464)	3,208 (571)	△ 1,872 (△ 1,699)	△ 58.4 (△ 297.5)
	法非適用企業	簡易水道	33 (△ 232)	545 (265)	38 (△ 275)	△ 5 (43)
下水道		2,726 (△ 7,122)	40,749 (9,848)	2,973 (△ 9,229)	△ 247 (2,107)	△ 8.3 (△ 22.8)
市場		116 (△ 7)	239 (123)	95 (△ 47)	21 (40)	22.1 (△ 85.1)
観光施設		21 (△ 199)	220 (220)	9 (△ 286)	12 (87)	133.3 (△ 30.4)
宅地造成		1,394 (△ 972)	2,366 (2,366)	792 (△ 1,350)	602 (378)	76.0 (△ 28.0)
駐車場		52 (△ 24)	258 (76)	48 (△ 46)	4 (22)	8.3 (△ 47.8)
介護サービス		3 (△ 140)	143 (143)	3 (△ 146)	0 (6)	0.0 (△ 4.1)
小 計		4,345 (△ 8,696)	44,520 (13,041)	3,958 (△ 11,379)	387 (2,683)	9.8 (△ 23.6)
合 計	5,681 (△ 9,824)	49,653 (15,505)	7,166 (△ 10,808)	△ 1,485 (984)	△ 20.7 (△ 9.1)	

(注) 1 収支額は、法適用企業あつては純損益、法非適用企業あつては実質収支による。

2 繰入金は、法適用企業にあつては収益的収入への一般会計等からの繰入金、法非適用企業にあつては収益的収入及び資本的収入への一般会計等からの繰入金である。

4 建設投資額

- ・ 建設投資額は、601 億円で、病院事業における新病院建設に係る支出が増加したものの、下水道事業等における災害復旧事業等の減少により、前年度に比べ 16 億円、2.6%の減
- ・ 建設投資額を事業別にみると、下水道事業（法適用＋法非適用）339 億円と最も多く、次いで水道事業（含簡易水道）175 億円、病院事業 63 億円の順

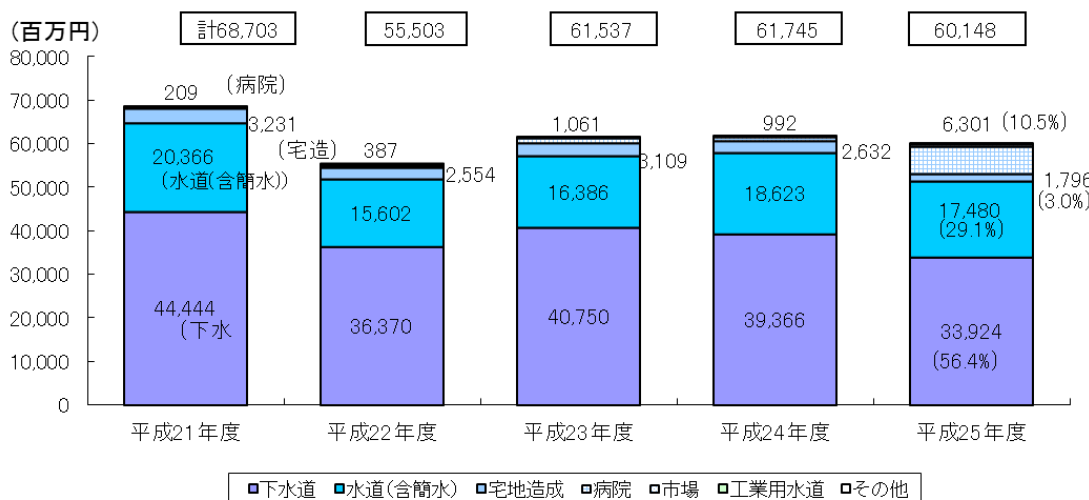
〈事業別建設投資額一覧〉

（単位：百万円，％）

区分		平成21年度	22年度	23年度	24年度 (A)	25年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
法適用企業	上水道	19,524	15,123	15,588	17,707	16,145	△ 1,562	△ 8.8
	工業用水道	15	377	37	32	54	22	68.8
	電気	0	0	0	0	30	30	-
	病院	209	387	1,061	992	6,301	5,309	535.2
	下水道	1,296	1,818	1,978	2,765	1,582	△ 1,183	△ 42.8
	小計	21,044	17,705	18,664	21,496	24,112	2,616	12.2
法非適用企業	簡易水道	842	479	798	916	1,335	419	45.7
	下水道	43,148	34,552	38,772	36,601	32,342	△ 4,259	△ 11.6
	市場	86	36	44	78	457	379	485.9
	観光施設	131	146	111	21	106	85	404.8
	宅地造成	3,231	2,554	3,109	2,632	1,796	△ 836	△ 31.8
	駐車場	221	0	0	0	0	0	-
	介護サービス	0	31	39	1	0	△ 1	△ 100.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	47,659	37,798	42,873	40,249	36,036	△ 4,213	△ 10.5
合計	68,703	55,503	61,537	61,745	60,148	△ 1,597	△ 2.6	

（注）建設投資額とは、資本的支出のうち建設改良費である。

〈建設投資額の推移（過去5年間）〉



5 企業債現在高

- ・ 企業債現在高は、7,929 億円で、全体として企業債の発行を抑制している傾向にあるため、平成16年度をピークに毎年度減少しており、前年度に比べ215億円、2.6%の減
- ・ 企業債現在高を事業別にみると、下水道事業（法適用+法非適用）が5,883億円で最も多く、次いで水道事業（含簡易水道）1,863億円、宅地造成事業71億円の順

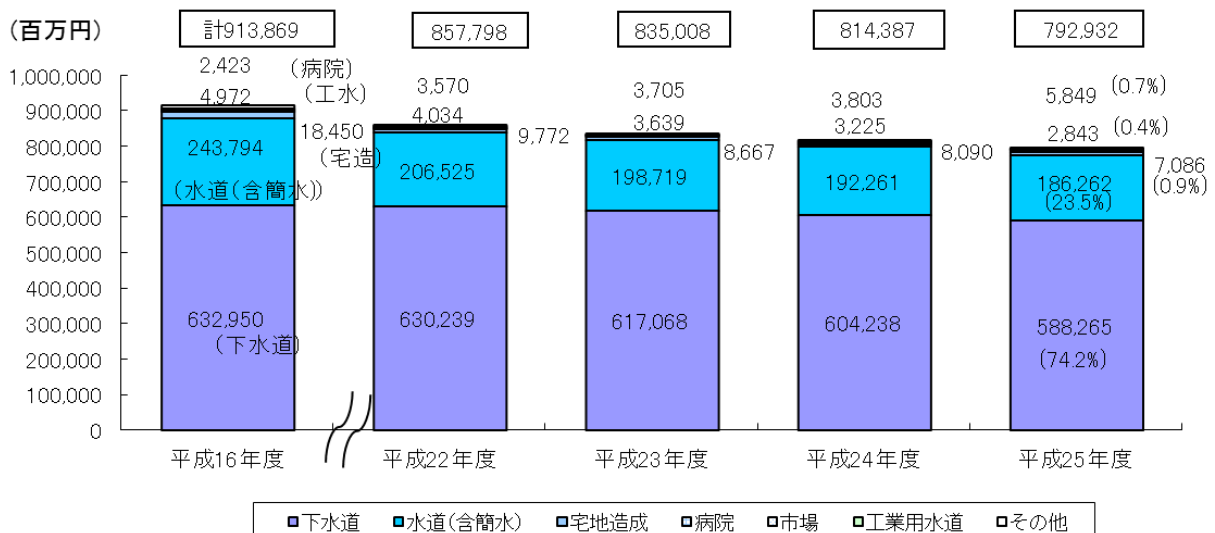
〈事業別企業債現在高一覧〉

（単位：百万円，％）

区分		平成16年度 ～	22年度	23年度	24年度 (A)	25年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
法 適 用 企 業	上水道	238,751	202,241	194,352	187,777	181,244	△ 6,533	△ 3.5
	工業用水道	4,972	4,034	3,639	3,225	2,843	△ 382	△ 11.8
	電気	0	0	0	0	30	30	-
	病院	2,423	3,570	3,705	3,803	5,849	2,046	53.8
	下水道	28,066	23,793	22,382	21,937	20,820	△ 1,117	△ 5.1
	観光施設	362	0	0	0	0	0	0.0
	小計	274,574	233,638	224,078	216,742	210,786	△ 5,956	△ 2.7
法 非 適 用 企 業	簡易水道	5,043	4,284	4,367	4,484	5,018	534	11.9
	下水道	604,884	606,446	594,686	582,301	567,445	△ 14,856	△ 2.6
	市場	3,398	1,218	1,037	884	1,011	127	14.4
	と畜場	817	0	0	0	0	0	0.0
	観光施設	1,167	0	0	0	0	0	0.0
	宅地造成	18,450	9,772	8,667	8,090	7,086	△ 1,004	△ 12.4
	駐車場	5,190	2,234	1,982	1,721	1,440	△ 281	△ 16.3
	介護サービス	346	206	191	165	146	△ 19	△ 11.5
	その他	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	639,295	624,160	610,930	597,645	582,146	△ 15,499	△ 2.6
	合計	913,869	857,798	835,008	814,387	792,932	△ 21,455	△ 2.6

（注）企業債とは、地方公営企業の建設改良事業に要する資金に充てるために起こす地方債をいう。

〈企業債現在高の推移（過去5年間）〉



6 一般会計等繰入金

- 一般会計等繰入金は、529億円で、東日本大震災に係る災害復旧事業への繰入金の減少等により、前年度に比べ23億円、4.1%の減
- 繰入金の内訳は、収益的収入への繰入金が356億円（67.2%）、資本的収入への繰入金が173億円（32.8%）
- 一般会計等繰入金を事業別にみると、分流式下水道の要する経費（元利償還金）等を繰入れている下水道事業（法適用＋法非適用）が417億円で最も多く、次いで水道事業（含簡易水道）48億円、病院事業29億円の順

〈事業別繰入金の状況一覧〉

（単位：百万円，％）

区 分	平成25年度				平成24年度		対前年度比較	
	(A)	構成比	(A)のうち収益的収入への繰入金 ()内基準外繰入	(A)のうち資本的収入への繰入金 ()内基準外繰入	(B)	増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)	
法適用企業	上水道	4,246	8.0%	2,291 (1,098)	1,956 (1,191)	4,594	△ 348	△ 7.6
	工業用水道	250	0.5%	70 (70)	180 (180)	264	△ 14	△ 5.3
	電気	0	0.0%	0 (0)	0 (0)	0	0	-
	病院	2,930	5.5%	2,503 (1,251)	428 (104)	2,956	△ 26	△ 0.9
	下水道	992	1.9%	269 (45)	723 (626)	1,269	△ 277	△ 21.8
	小 計	8,418	15.9%	5,133 (2,464)	3,287 (2,101)	9,083	△ 665	△ 7.3
法非適用企業	簡易水道	545	1.0%	144 (67)	401 (197)	540	5	0.9
	下水道	40,749	77.0%	29,675 (2,987)	11,074 (6,861)	41,100	△ 351	△ 0.9
	市場	239	0.5%	124 (44)	115 (79)	240	△ 1	△ 0.4
	観光施設	220	0.4%	115 (115)	106 (106)	157	63	40.1
	宅地造成	2,366	4.5%	79 (79)	2,287 (2,287)	3,708	△ 1,342	△ 36.2
	駐車場	258	0.5%	205 (24)	53 (53)	232	26	11.2
	介護サービス	143	0.3%	123 (123)	19 (19)	140	3	2.1
	小 計	44,520	84.2%	30,465 (3,439)	14,055 (9,602)	46,117	△ 1,597	△ 3.5
合 計	52,939	100.0%	35,598 (5,902)	17,341 (11,703)	55,200	△ 2,261	△ 4.1	

（注）一般会計等繰入金

公営企業に対しては、経営の健全化を促進し経営基盤を強化するため、一般会計等から繰入（負担・補助等）を行っている場合があり、その運用上の基準としては、総務省から繰入金に関する通知が出され、一般会計等が負担等するべき経費や基準等が示されている。（「平成25年度の地方公営企業繰入金について」通知）

- 基準内繰入金：地方公営企業法等の規定による一般会計と公営企業会計との間の経費の負担区分の原則等に基づき、総務省の示す一般会計が公営企業会計に対して繰り出すべき基本的な考え（繰出基準）に基づく繰入金。
- 基準外繰入金：地方公営企業法等の規定による一般会計と公営企業会計との間の経費の負担区分の原則等に基づき、一般会計が公営企業会計に対して繰り出すべき基準（総務省が示す繰出基準）に基づかない繰入金。
（例：収支不足の補てん等）

(参考) 東日本大震災に係る災害復旧事業費

- 平成 25 年度の東日本大震災に係る災害復旧事業費は 35 億円であり，事業完了等に伴い対前年度比 63 億円，63.8%の減
- 災害復旧事業費の中では，下水道事業が 32 億円（全体の約 90%）と最も多く、次いで水道事業（含簡易水道）4 億円の順（※各項目の数値は，表示単位を四捨五入したものであるため，合計した数値は合計額と一致しない）
- 災害復旧事業費が減少したものの，通常分は，下水道事業における公的資金補償金免除繰上償還の実施等による増加（172 億円，8.5%増）のため，歳出額（全体）につい

<事業別災害復旧事業費>

（単位：百万円，%）

区 分	平成25年度決算			平成24年度決算			災害復旧事業費の比較		
	歳出額(全体)	災害復旧事業費 a	うち通常分 A	歳出額(全体)	災害復旧事業費 b	うち通常分 B	増減額 c=a-b	増減率 c/b	
法 適 用 企 業	上水道	75,852	362	75,490	76,257	1,263	74,994	△ 901	△ 71.3
	工業用水道	873	0	873	865	0	865	0	-
	電気	30	0	30	0	0	0	0	-
	病院	16,198	0	16,198	10,694	202	10,492	△ 202	△ 100.0
	下水道	7,285	0	7,285	7,841	0	7,841	0	-
	小 計	100,238	362	99,876	95,658	1,466	94,193	△ 1,104	△ 75.3
法 非 適 用 企 業	簡易水道	2,177	0	2,177	1,748	0	1,748	0	-
	下水道	114,287	3,173	111,114	106,242	8,321	97,921	△ 5,148	△ 61.9
	市場	1,188	8	1,180	897	4	892	4	84.0
	観光施設	456	0	456	328	10	318	△ 10	△ 100.0
	宅地造成	3,854	0	3,854	6,292	0	6,292	0	-
	駐車場	486	0	486	497	0	497	0	-
	介護サービス	969	0	969	1,015	0	1,015	0	-
	小 計	123,417	3,181	120,236	117,018	8,335	108,683	△ 5,154	△ 61.8
合 計	223,655	3,543	220,112	212,677	9,801	202,876	△ 6,258	△ 63.8	

(注) 1 災害復旧事業費とは，災害によって被害を受けた施設を原形に復旧するために要する経費をいう。

2 歳出額（全体）は，次のとおりとした。

法適用企業：総費用（税込み）－減価償却費＋資本的支出

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋前年度繰上充用金